

2022年度レポート，論文への担当者のコメント

加藤 志津子

ChatGPTが世をにぎわせている。便利な知的ツールである。でも，回答に著者はおらず，その真実性を誰も保証していない。それに対してレポート，論文は，著者が責任をもって執筆しなければならない。そこでは，引用文献やデータの出所を明示することが非常に重要である。

2年生レポート

初めて勉強するロシア，東欧諸国の経営について，まずテーマ設定に苦労したが，先行研究や資料に依拠しながら，自分の考えをまとめた。内容的にも興味深いレポートである。残念ながら，時間切れで，レポートとしての水準に達することができなかった学生もいた。作文ではなく研究レポートを書くために，何が必要かは分かったと思うので，3年生で立派なグループ論文を書けると期待する。

3年生グループ論文

ウクライナのIT産業の現状と将来展望について研究した。ウクライナ戦争が始まる中で，テーマ設定に苦慮したが，結果的には，長期的にも意味のあるテーマを設定できた。懸賞論文やゼミプレでは入賞できなかったが，苦労して論文を仕上げ，立派なプレゼンをした。背景理解をしっかりと行うことが必要だった。

4年生卒業論文

残念ながら，3名ともWebで公開できるレベルまで仕上げることはできなかった。データはたくさんそろえたのだが，形式を整え，論理的に整理するところまでいかなかった。

コロナ禍に影響され続けた2年半で，ゼミ活動も大きく制約され，モチベーションの維持もむずかしいなか，投げ出さずに卒業論文に取り組んだ経験は，今後の社会人としての生活に必ず活きると思う。